

1978.11.30

通信内容

談話会通信

No. 25

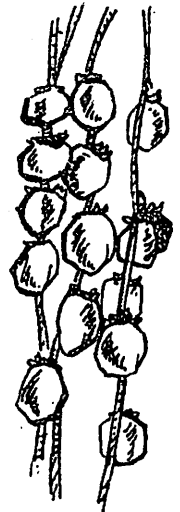
冬の観察-鈴木	2
手野市のクモ-佐藤	3
くもむしりに行った	4
蔵書目録	7

東京クモ談話会

11月25日 東京……私にとって今秋初めての‘しも’の朝でした。クモも野外ではあまりまくみつけられません。観察時の目の位置も次第に下にさがり、このところは吸虫管口にくわえ、地べたをほうようなかこうです。……そんなに野外でみるものか？ たかな？ と思い4年前の野帳をひっぱり出してみました。すると、いかに発見することは多いようです。

12月6日(金) アオオニグモ 体長5mm アスマネグモにすみ分け。

- ワスレナグモ (日野より出てきた)
- チバダカニグモ 成体 死んでいる。スキの種取
- ナカコカネグモの卵のう コウカランのところに。
- ビショオニグモ 8mm



こうして考えてみると、野帳をポケットにしのは“せ 気がするに外へ”という行為が、このごろないようです。さて…今年の冬はもうすこし外へ出てみるとしよう。

新入会員の方・住所変更

東京農大第一高等学校 住物部

〒156 世田谷区桃3-33-1

綿田 忠雄 氏 〒280 千葉市高洲2-3-2-208

渡辺 修平 氏 〒229 相模原市鶴ヶ島5-2-17

今回は上記3…団体ほか2人…名のホビヲ入会しました。こまからの会の活動に下り上参加するともに、いっしょに楽しみも聞かせてください。

三合同例会 12月24日(日)

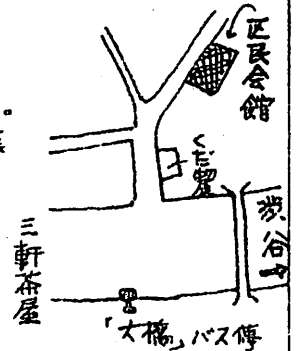
今年もまた三合同例会をおこなう季節になってしまいました。一年たつのは速いものです。また大橋1おいでください。講演も募集しております。

場所 目黒大橋区民会館

日時 12月24日(日) 午前10時～午後5時

昼食 各自で“こころ配”ください

会費 500円です。



※ 世話人は 多足類懇話会の高野光男さんです。

問い合わせは 談話会事務局でも構いません。0423(21)0289(新海)

▷ 与野市大戸15番地のワモ

佐藤幸子 ヌから

引越したのが7月17日でした。自についたワモは...

瓦、床Eの上をうろろ歩きまわ。こいるユカ...

7月 ユカマヤマシロワモ

8・9月 ヒラワワモ・シロワワモ・アズマキシワワモ...

10月 ネコハワモ・コリサワモ

絹布の袋に一匹も見られなかつたネコハワモが...

ハラギヒメワモ・ヒロヒメワモ・ヤミイロカワモ...

▷ 鹿和弓地区入間地区科学教育振興展覧会 (郡尾) に出品されたワモ

ワモの研究

市沢地区 柳瀬小4年 原口伸夫君

ワモの研究

入間地区 東金子小6年 高橋大志君

ワモの研究

狭山地区 御旗山小6年 内海誠君

原口君の発表はワモの糸をまきめ、あついたワモ...

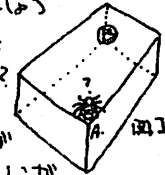
高橋君は家の回りのワモをまきめ、その中の...

(出品目録と田中理恵ユ 製)

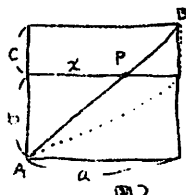
▷ No.23 p.2のV-Y-の問題、解けたワモ

ワモに、たつてもいじや、おもしろ

あ、しがの上のワモは、じのような状況におか...



黄色のワモなら、早くしがの面は、2面Eで...



ワモが動かぬこの状況は、2面の長さがわかるといふこと...

談話室



佐藤幸子さんからいただきました。
もう終わってしまいましたが、この研究会は
カ・ハ・ロツに活動しております。

環境教育研究会大会案内

日 時 10月28日(土)午後1時より

場 所 東京学芸大学教育学部教育工学教室

交 通 中央線武蔵小金井駅下車

北口より小平団地行(京王バス)に乗り、学芸大正門前下車

特別講演

環境教育について

根 本 順 吉(埼玉大学教養部)

地域主義と環境教育について

清 成 忠 男(法政大学経営学部)

一般講演

杉並区の真正クモ類と自然環境について

梅 林 力(杉並区東田小学校)

子供たちと環境—学校の中で—

林 四 郎(東京学芸大学付属世田谷小学校)

自然観察会におけるフィールドの使いかたについて

小 川 潔(東京大学理学部)ほか

雪谷小学校の学校緑化

古 市 守(大田区雪谷小学校)

連絡先 東京都小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学教育学部第四部

環境教育研究会

Tel. 0423-25-2111 内線709

▶ 談話会蔵書目録

No. 112 人と自然 No. 6 (1978) pp. 1-48

有機農業と生き物(1)(竹崎靖一), インフュージョンロ
キシゲイア紹介(徳田寛一), 「クモの会」充足のごあいさつ
(藤井悦子)

No. 113 HEPTATHELA Vol. 1 No. 1 (1978)

九州クモの会会誌 pp. 1-32

会誌刊行のこぼれ(吉倉真), 封馬のクモ—新記録並びに
その観察—(大藤千代子), オオトリノフンダマシヒトリノフンダマン
生活史(木庭委), 南九州の洞窟産真正蜘蛛類(1)(入江照雄)

No. 114 第6回3会合同例会講演要旨 (1977) pp. 1-4

ゴマダラヒメグモについて(徳田寛一), 台湾のクモ数種について(吉田哉)
ワルゲン装置によるカニムシの抽出(佐藤英久), 北海道ミズグモ調査隊
始末記(新海崇一), 三宅島における噴出年代の異なる溶岩上のツツラグモ相
について(高橋徹), ガトウムシの食性(佐藤秀樹), イソシマジムカデ
の分布様式とその生活史について(泉原幸夫), フタヤスデ属の生活史
(石井晴), 収獲法の異なる桑園でのクモの群集構成(田見裕久)
クモの染色体観察法について(松浦祐司), カンヌグモとヒリまくクモ類
の系統的関係(泉原輝代子)

No. 115 九州クモの会会報(第4号) (1978) pp. 1-6

与論島だより(出来律子), ネコハエトリグモヒカラスハエトリグモ(吉田裕之)
九州クモの会総会(木庭), 東亜蜘蛛学会誌本大会終わる(馬場),
事務局だより

No. 116 ATYPUS No. 72 (1978) pp. 1-46

コキバガニグモの再記載(小野展嗣), 台湾のクモから(2)(吉田哉)
ヒラタグモ類について(清水祐行), ツシマトリノフンダマンの網について
(中木良芳範), 茶園におけるクモ類相の研究(第3報)(寺田・吉村・今西)
筑前市攻木中でのワスレナグモ(加村隆美), フロガジグモの飼育(佐藤英志)
箱根洞窟附近のクモ類(高野光男), 日本産カニムシ分布資料(佐藤英久)
外国のクモの日本名(東亜蜘蛛学会)

No. 117 新海崇一 (1977) 自宅内の土壌性クモ類 Edaphologia
(16): 26-34, pl. 1.

けいじばん



▷ KISHIDAIA

No. 44の発行が編集局多忙のため遅れますのでご承知ください。なお編集局では協力して下さる方を募集いたします。

〒221

横浜市神奈川区
片倉町199

熊田恵一



▷ 54年度分の会費

通信24号A7でお知らせいたしましたように54年度から会費が変わります。なお会計年度もかわりますのでまとめておきます。

会費：一般 2800円

中・高生 2000円

会計年度変更時期

昭和54年1月

から 昭和55年3月
(15ヶ月になります。)

・振り込みの方 東京7-74885

・事務所

東京都国分寺市本多1-6-6

シカイ写真館内 新海栄一

▷ 蔵書目録

「ヒー」に依りますので「必要の方は事務局まで連絡ください。

▷ 通信へどうぞ!!

年賀状を喜びながら通信へも情報をおよせください。

せわしない中にも「ほ」とするひとときがあることと思います。通信を出しおえ私もほとしています。来年は通信も30号が出ます。どめような30号ができるかたのみになっています。

次回の通信は
1月発行予定

いふとほ...

(田中)



東京クモ談話会

一通信25号一

1978年11月30日発行

本部

〒191 東京都日野市豊田1896

壺山鳥泉方 TEL.0425(81)7128

発行責任(通信原稿受付)

〒190-12 東京都西多摩郡瑞穂町

田中理恵 TEL.045(57)0355 武蔵41

会費 53年度 1500円